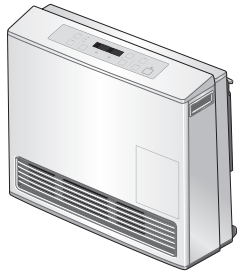


大阪ガス

取扱説明書

保証書付

ガスファンヒーター〔家庭用〕



このたびは、大阪ガスのごガスファンヒーターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

よく読んで安全に正しくお使いください

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書の一部が保証書になっています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使い方をされますと著しく機器寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



RC-U5801-105(00)
210401●

型番	140-9405型 140-9415型
型式名	RC-U5801E

もくじ

- 1 安全上のご注意 (必ずお守りください)
- 2 各部のなまえとはたらき
- 3 お使いになる前に (機器の接続)
- 4 お使いになる前に (現在時刻の設定)
- 5 運転・停止のしかた
- 6 室温調節のしかた
- 7 スポット暖房運転のしかた
- 8 ロックのしかた
- 9 プザー機能について
- 10 およはうタイマー運転のしかた
- 11 おやすみタイマー運転のしかた
- 12 エコ運転のしかた
- 13 仕様・寸法図
- 14 自動消火機能について
- 15 仕様・寸法図
- 16 日常の点検とお手入れ
- 17 故障かな?と思ったら
- 18 安全装置が作動したときの処置
- 19 保管とアフターサービス

必ず換気する。
使用中は1時間に1～2回
(1～2分)程度換気扇を開くか、
窓を開けるなどで換気する。
換気をしないと一酸化炭素中毒を
起こし、死亡事故にいたるおそれ
があります。

このガスファンヒーターの設計上の標準使用期間は製造から10年です。
標準使用期間を超えて使い続けると、経年劣化によって思わぬ事故に至るおそれがありますので、製造後10年経過したら、あんしん点検を受けるか機器の取り替えをお勧めしています。
あんしん点検については「**⑩保管とアフターサービス**」をご覧ください。

・設計上の標準使用期間は、標準的な使用頻度で適切に使用・維持管理された場合に安全上支障なく使用できる標準的な年数でございます。この年数の算出条件は一般社団法人日本ガス石油機器工業会が定めた自主基準を基にしています (製造年月の確認のしかたは「**⑩安全上のご注意 (使用ガスおよび使用電源の確認)**」に記載しております)。
・使用方によっては、設計上の標準使用期間より著しく劣化する可能性があります。

1 安全上のご注意 (必ずお守りください)

■製品を正しくお使いいただくため、お客さまや他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
■以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

危険

警告

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■検査表示について次のような意味があります。



危険

■絶対に火をつけない
■電気器具のスイッチの入 / 切をしない
■電源プラグの抜き差しをしない
■周辺に電話を使用しない
■ガス漏れに気づいたら、すぐに使用を中止する

①ガス検とメーターのガス検を閉じる。
つまみのないガス検の場合は、
ガス検からガスコードを外す。

②窓や戸を開け、
ガスを外へ出す。

③外に出て、もよりのガス
会社 (供給業者) に
連絡する。

警告

改造・分解禁止

■お客さまご自身では工具を使用して絶対に分解したり修理・改造したりしない
●一般化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。
●修理・改造・分解は高度な専門知識が必要で、

使用ガスおよび使用電源の確認

■機器本体铭板に記載してあるガス種 (ガスグループ) および電源 (電圧・周波数) 以外のガスおよび電源では使用しない。
●記号のガス種と使用ガスおよび使用電源が一致している場合、不完全燃焼により、一酸化炭素中毒にいたり、異常な点火や機器故障の原因になったりしますので使用しないうでください。
●接続された場合も、供給ガスの種類および電源の種類を必ず確認してください。
●わからない場合はお買い上げの販売店、または、もよりのガス会社 (供給業者) に確認してください。

周囲の防火措置

■家具や壁・柱など可燃性の部分との距離を十分に確保
●火や燃焼熱により、火災の原因になります。
●機器の後面が覆われていて、正しい距離の確保が確認できないことがあります。
●機器の後方が壁に近いと、安全装置が作動して運転が停止することがあります。



ガス接続

■ガスコード必ず当社指定のものを使用する
接続の際にはガスコードおよび機器のガス接続口にガスやごみなどの異物がないことを確認し、確実に接続してください。
確実に接続されていないとガス漏れが生じ、発火や火災の原因になります。

以下のガス接続機器

■スリムプラグ・機器用ソフト・ゴム管・クチゴム付ガスホースを使用しない
●ガス漏れが生じ、発火や火災の原因になります。
■ガスコードの上に物をせたり、踏まれるまたは挟まれる状態で使用したりしない
●ガスコードが破損し、ガス漏れが生じ、火災の原因になります。
■ガスコードを破損させたり、天幕などを通したりしない
●接続部からガス漏れが生じ、火災の原因になります。

温風をしかに当たらない

■低温やけどに注意する
温風の直接当たる場所では設置しないでください。低温域でも連続的に当たると低温やけどの原因になります。(特に乳幼児、小さなお子さま、高齢者、病人など、自分の意思で身体を動かさない方、寝方がある場合、お洗濯物を干された方、皮膚や皮膚病のある方などとお使いのときは、覆りの方を注意してください。)

■温風をしかに長時間、体当たらない
体調悪化や健康被害の原因になります。

1 時間に 1～2 回換気する

■必ず換気する。使用中は1時間に1～2回 (1～2分) 程度換気扇を開くか、窓を開けるなどで換気
●換気をしないと、一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。
●換気は2分間以上の (風の出入りがある) 開口部を設けると効果よくできます。換気扇を使用する場合でも換気扇から離れた位置の窓を開けたり十分な換気ができない場合があります。
●24時間換気であっても、換気を行う必要があります。

■換気できない場所では使用しない
窓が連続する場所や地下など、換気できない場所では使用しない。
一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

火災予防、スプレー缶厳禁

■機器の近くには、燃えやすいものを置かない
機器の上部周囲には燃えやすいものを置かないでください。また、可燃物 (家具、カーテン、洗濯物など) を近づけないでください。

■使用中は外出、寝ない
火災など予期せぬ事故の原因になります。(および / おやすみタイマーの場合は除く。)

■機器の近くでは、引火のおそれのあるものを使用しない
スプレー・ガリリン・ペンなど火気を使うものを使用しないでください。引火して火災のおそれがあります。

■温風吹き出し口・エアフィルターをふさぎない、また紙・布・異物などを入れない
異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。

■スプレー缶を機器の前に置かない
機器の周辺や、温風吹き出し口の前でスプレー缶 (殺虫剤・ヘアスプレー・カセットコンロ用ボンベなど) を使用したり、置いたりしないでください。
熱で瓶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

電源コード・プラグについて

■いたんだ電源コードや電源プラグ、差込みがゆるいコンセントは使用しない
●絶縁・発熱による火災の原因になります。

■電源プラグを抜いてはいけない
●機器の過熱の原因になります。

■電源コードを引っ掛けて引き抜かない
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが破損し、絶縁・ショート・火災や機器故障の原因になります。

■切断して延長しない
●機器の電源は電源コードがコンセントに深く密着して接続されていることが必要です。延長線や変換プラグの使用は、絶縁不良や火災の原因になります。

■無理な力を加えたり、重いものをのせてはいけません。また、たばこをたきながら使用しない
●絶縁不良や火災の原因になります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使用いや、交流 (AC) 100V 以外で使わない
たこ配線などでは電圧が不安定になり、引火したりしない可能性があります。

■ぬれた手で抜き差ししない
●感電やけがの原因になります。

■電源プラグのほころびなどは定期的にとる
電源プラグを抜き、ぬれた手でいください。電源プラグにほころびがあると、漏電やけがの原因になります。また、漏電や火災の原因になります。

■電源プラグはぬれた手でしっかりコンセントに差し込む
差し込みが不完全な場合、絶縁・発熱による火災の原因になります。

異常時の処置

■異常時に使用する中止して、ガス検を閉じる
●火災や火災の発生や使用に異常な状態、異常な臭気・異常な温度を感じた場合、または使用中で火災が発生した場合は、ただちに使用を中止しガス検を閉じます。
(つまみのないガス検の場合は、ガス検からガスコードを外してください。)

①異常を感じたときは「**⑩故障かな?と思ったら**」。「**⑩安全装置が作動したときの処置**」に従う。
②上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または、もよりのガス会社 (供給業者) に連絡する。

■地震、火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス検とメーターのガス検を閉じる
(つまみのないガス検の場合は、ガス検からガスコードを外してください。)

注意

火災予防

■暖房以外の用途 (衣類の乾燥など) には使用しない
●乾燥・電圧・ショートなどを原因とし、引火したりしない可能性があります。火災や思わぬ事故の原因になります。また、機器の劣化や故障の原因になります。

■運転したまま持ち運ばない
●ガスコードが破損して異常燃焼の原因になります。ガスコードの接続が不完全になり、ガス漏れの原因にもなります。また、やけどなどの原因にもなります。

■火のついたタバコ・線香などを近づけない
●引火して火災の原因になるおそれがあります。

■壁の下など、落下物のおそれのあるところでは使用しない
落下物によっては、火災のおそれや機器故障の原因になります。

設置場所

■段差のある床面に設置しない
●温風の当たる部分が変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
(前方は100cm以上離してください。)

■電気ケーブル・温水マットの上には設置しない
●電気ケーブルで覆われた部分、温水マットが覆われた部分に設置しないでください。
●電気ケーブル・温水マットの断線が正しく修理をしないことがあります。

■温風吹き出し口の前にはケラリ (格子) を取り付けない
●温度調節が正しく行われ、火災の原因になります。

■ドアの近くに置かない
●機器の熱や、やけどのおそれがあります。

■特別な場所に設置しない
●乾燥室・浴室・動物舎の前など、特別な場所では絶対に使用しないでください。
●機器が壊れたり、動物が死にたりするおそれがあります。

■スプレーや化学薬品を使用する場合および線香の多い場所 (理・美容院や、メッキ・塗装工場など) では使用しない
●スプレーや化学薬品使用、腐食性ガスの発生により金属が腐食したり、刺激臭や臭気が生じたりする原因になります。また、健康を害したり、機器故障の原因になります。

■換気設備やふすまなど換気設備が通していない場所には置かない
●換気設備が通っていないと、換気不足になります。

■高温や多湿になる場所に置かない、保管しない
●機器の金属部分が腐食したり、樹脂部分が割れたり、破損したりすることがあります。また、機器故障の原因になります。

■水のかかる場所に設置しない
●浴室など高温・多湿の場所や水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。
漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。

■機器の上に花瓶や金魚ばちなどを置かない
●漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。

水などこぼれ防止

■水などこぼれ防止
●機器が壊れたり、引火して運転が停止したり、温風の方向が変わり、温風の当たる部分が変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。

■毛の長いちゃん・クッションフロア・その他熱で変色しやすい床面を使用する場合は、機器の下に板などを敷いて使用する
●熱により、じゅうたんの毛足やクッションフロアなどが変色する原因になります。
●毛の長いちゃんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

廃棄時の注意

■機器を取り替えた場合、機器は専門の業者に処理を依頼する
お客さまご自身で廃棄する場合、乾電池を使用している機器は、必ず乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。

ご使用について

■機器の上に置かたり、のたたりしない
●けがや、やけどの原因になります。
●機器の変色によるガス漏れ、不完全燃焼や機器故障のおそれがあります。

■くんとらタイプ (壁埋型) の設置時、防虫剤を使う場合は運転しない
●防虫剤が機器の内部から吸い出し、その吸い出しの経路が通らないことがあります。

■臭気、防虫剤を機器にかけたり、機器の近くで使用したりしない
●機器の樹脂部分が変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
●臭気性ガスの発生により、金属が腐食したり、機器故障の原因になります。

■温風吹き出し口の前や周囲にはものを置かない、機器背面 (エアフィルター部) をふさいだりしない
●機器の故障、やけどや機器故障の原因になります。
●床やじゅうたんの変色やヒビ割れ、プラスチック製品の損傷の原因になります。

■エアフィルターを外して運転しない
●機器内部へのほこり詰まりによる機器故障の原因になります。

■温風吹き出し口に指や鉛筆などを入れない
●指や鉛筆が壊れたり、やけどや機器故障の原因になります。
特に小さな子どもがいるご家庭ではご注意ください。

■使用中および使用直後は、操作部、取っ手以外は手を触れない
●操作部、取っ手は高温になり、手を触れるとやけどや火災の原因があります。特に温風吹き出し口付近、エアフィルター部分の高温部には触れないでください。

■停止したときや、誤って電源プラグを抜いて機器が停止したときは、機器背面 (エアフィルター部や取っ手部分) に手を触れない
●高温になっているので、手を触れるとやけどのおそれがあります。

■小さな子どもが遊んだり、いたずらしたりしないよう注意する
●思わぬ事故につながるおそれがあります。

電源コード・プラグについて

■点検やお手入れの際は、必ず電源プラグを抜く
●感電やけがをすることがあります。

電源プラグをコンセントに差し込む

■ガス検を閉める
●強い風の吹き込むところでは使用しないでください。炎が流れて火災の原因があります。
●雷が降りはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。

■十分に換気して、結露に注意してください
●機器の近くでヘアスプレーや制汗スプレーなどシリコンの入ったスプレー缶を使わないでください。機器内部や温風がシリコンの成分が付着したり、吸い込まれたりすることがあります。
●お部屋の窓が閉められているところでは使用しないでください。ほこりやカビの増えにより、じゅうたんと温風の当たる部分が変色する (汚れる) ことがあります。

■持ち運びの際は、必ず取っ手を持ってください。けがや、やけどの原因になります。
●定期的に点検整備 (有料) をお受けください。

お買い

■お買い
●強い風の吹き込むところでは使用しないでください。炎が流れて火災の原因があります。
●雷が降りはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。

■十分に換気して、結露に注意してください
●機器の近くでヘアスプレーや制汗スプレーなどシリコンの入ったスプレー缶を使わないでください。機器内部や温風がシリコンの成分が付着したり、吸い込まれたりすることがあります。
●お部屋の窓が閉められているところでは使用しないでください。ほこりやカビの増えにより、じゅうたんと温風の当たる部分が変色する (汚れる) ことがあります。

■持ち運びの際は、必ず取っ手を持ってください。けがや、やけどの原因になります。
●定期的に点検整備 (有料) をお受けください。

2 各部のなまえとはたらき

(正面) (背面)

操作・表示部
運転状態を設定します。

運転部
お部屋の温度を制御します。

ガス接続口
ガスコードを接続します。

キャップ (透明)
使用しないときは、ガス接続口にキャップをしてください。

電源コード・プラグ
AC100V 50-60Hz用です。

クリップ
エアフィルターを固定します。

取っ手
移動させるときは、ここを持ってください。

エアフィルター
空気をろくことで室内に入るのを防ぎます。

■注意・操作方法ラベル
使用上の注意事項と操作方法を記載しています。
お買いになる前に、必ずお読みください。

■ガス検に注意する
ガス検に注意する
ガス検に注意する
ガス検に注意する

3 お使いになる前に (機器の接続)

■用意するもの
●ガスコード (別付)

■正しい接続
●必ず別売のガスコードを使用してください。
●引火したり、ぬれた手でいしないように、お部屋の隅に置いたままのガスコードをご用意ください。

1. 電源を接続する
●電源プラグをコンセントに深く差し込みます。

■正しい接続
●必ず別売のガスコードを使用してください。
●引火したり、ぬれた手でいしないように、お部屋の隅に置いたままのガスコードをご用意ください。

■ガス検に注意する
●ガス検に注意する
ガス検に注意する
ガス検に注意する

